

大阪市立大学文学部特別授業

上方文化講座2011

しょう うつし あさ がお ばなし

生写朝顔話

講師

竹本津駒大夫(太夫) 鶴澤清介(三味線) 桐竹勘十郎(人形遣い)

久堀裕朗(日本近世文学)

塚田 孝(日本近世史)

村田正博(日本古代文学)

松浦恆雄(中国演劇)

丹羽哲也(日本語文法)

小林直樹(日本中世文学)

■授業期間

2011年8月24日(水)~8月26日(金)

■授業時間

連日9時30分~16時

■授業教室

大阪市立大学学術情報
総合センター10階大会議室



昨年授業風景

●受講ご希望の方は下記の要領でお申し込みください。

募集人員:70名(申し込み多数の場合、抽選。結果は返信用ハガキで8月上旬に通知)

受講料:無料

申込方法:申込書(書式自由)に住所・氏名・電話番号・受講動機(400字程度)を記し、返信用の官製ハガキ(住所・氏名を記入のこと)を添え、封書にて郵送

申込締切:7月26日(必着)

申込先:〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138 大阪市立大学文学部事務局「上方文化講座」係

*講座は3日間通しの受講が条件となります。お問い合わせ 文学部事務局 TEL06-6605-2351(平日9時~17時)

*ご記入いただきました個人情報は他の目的には使用いたしません。



上方文化講座とは



上方文化講座は大阪市立大学文学部が2004年度より開設した特別授業科目です。大阪の地に歴史的に育まれた文化、わけでも伝統芸能「文楽」に光をあて、学問的体系のもとに学ぼうとするものです。

その第一の特色は、文楽界の中核を担う名手、竹本津駒大夫（太夫）・鶴澤清介（三味線）・桐竹勘十郎（人形遣い）の三師を学外非常勤講師としてお招きし、文学研究科スタッフとの共同作業により授業を組み立てていく点にあります。さらに第二の特色として、それが文学部の正規の授業科目であるとともに、一般市民にも公開して行われる点を挙げる事ができます。

大阪市設置の公立大学に相応しい、教育・研究・社会貢献の三者が一体となった事業として、従来の公開講座の類とは一線を画した内容を有しています。

上方文化講座2011『生写朝顔話』授業日程

8月24日(水)	I 時代と世話 (久堀裕朗)
	II 『生写朝顔話』解説 (久堀裕朗)
	III 島田・大井川の文学史 (小林直樹)
	IV 『喪明之泣』 (村田正博)
8月25日(木)	I 『生写朝顔話』〈四段目〉講読 (久堀裕朗)
	II 浄瑠璃の言語 (丹羽哲也)
	III 『生写朝顔話』—— 太夫・三味線の芸 (竹本津駒大夫・鶴澤清介)
	IV 『生写朝顔話』—— 太夫・三味線・人形の芸 (竹本津駒大夫・鶴澤清介・桐竹勘十郎)
8月26日(金)	I 近世大坂の芝居町 (塚田孝)
	II 『朝顔日記』と中国演劇 (松浦恆雄)
	III 桐竹勘十郎師に聞く —— 実演をまじえて (桐竹勘十郎)
	IV 文楽の至芸 —— 太夫・三味線・人形、三業一体の舞台 (竹本津駒大夫・鶴澤清介・桐竹勘十郎)

*なお、各時限のおおよその目安は以下の通りです。

I・II 9:30~12:00

III・IV 13:00~16:00

*授業内容および時間割は変更になる場合もありますので、ご了承ください。

■これまでに取り上げた作品

2004年度『曾根崎心中』

2005年度『国性爺合戦』

2006年度『冥途の飛脚』

2007年度『菅原伝授手習鑑』

2008年度『義経千本桜』

2009年度『仮名手本忠臣蔵』

2010年度『一谷嫩軍記』

2004年度・2007年度分については、講座内容をまとめた『上方文化講座 曾根崎心中』『上方文化講座 菅原伝授手習鑑』(和泉書院、日本図書館協会選定図書)が刊行されています。また、昨年度までの授業内容については、上方文化講座ホームページ (<http://www.lit.osaka-cu.ac.jp/lit/lect/kamigata/index.html>) をご覧ください。

交通

JR阪和線「杉本町(大阪市立大学前)駅」下車、東へ徒歩約5分
地下鉄御堂筋線「あびこ駅」下車、4号出口より南西へ徒歩約20分

